

八幡小学校区 SC だより

令和5年12月 vol.07

※SCは生活支援コーディネーターの略称です。

八幡地区生活支援コーディネーター（SC）の青木です。
先日、四季ざくら祭りが知多市大興寺周辺で開かれ、家族と出かけました。
周辺の里山には500本ほどの四季桜が植えられており、今年は12月下旬から見頃を迎えるようです。里山の自然を満喫することができました。



わいわい

11月17日（金）八幡福祉会館

朝の冷え込みが強まり、法海寺周辺の紅葉の色づきが進んできた様子を感じながら、サロン「わいわい」に訪れました。代表の早川成代さん（写真右下の方）を中心に23年前に立ち上げられました。立ち上げ当初は、空き家を活用され、料理を作り、障がい者の方のサポートをされるなど多岐にわたる活動をされてみえたそうです。コロナ禍を経て、現在は毎月第1火曜日の午後1時～3時と第3金曜日の午前10時～12時に、八幡福祉会館で開いています。

当日は、参加された方全員でぼけない五ヶ条を読んで、間違い探しクイズをされておりました。参加された方からは「わたしはつつじが丘に住んでいるが、雰囲気がとても好きで、娘と一緒に参加してます。」とお話を伺いました。

今後の活動は、1月はお休みで、2月16日（金）午前10時に梅の館入口に集合して、散策と食事を予定していますが、3月5日（火）の活動をもって、サロン解散となります。



ぼけない五ヶ条
一、仲間がいて気持の若い人
二、人の世話をよし感謝できる人
三、ものをよく読みよく書く人
四、よく笑い感動を忘れない人
五、趣味の楽しみをもち旅の好きな人

八幡・つつじが丘地区合同まちづくりワークショップ

11月20日（月）つつじが丘コミュニティセンターホール



さかいたもつ
ご近所福祉クリエーター酒井保さんをお招きし、「アフターコロナのつながりを切らない地域づくり」をテーマに、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域に暮らす住民の皆さんで互いに助け合える関係性を築いていくことが大切であり、フレイル（虚弱）予防につながっていくことをお話いただきました。酒井さんのユーモアあふれる語り口に、笑いながら楽しく話を聞く参加者の皆さんの姿を見ることができました。